

令和4年度 第2回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	令和4年11月8日（火） 14時30分～16時30分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	<p>委員 竹之内禎 会長 久保田 幸子 副会長 山崎 奈穂美 委員 宮田 篤 委員 森谷 芳浩 委員 春木 俊秀 委員</p> <p>事務局 小林 中央図書館長 熱田 管理担当長 仁和 奉仕担当長 管理担当：杉山 主査</p> <p>指定管理者：市楽総括責任者兼南図書館長</p>
欠席者	なし
傍聴人	3名

1 議 事

(1) 今期のテーマの検討

振り返り

【 会 長 】 テーマの検討に入る前に、前回会議の振り返りを行いたい。1つ目のテーマである「視聴覚ライブラリーのあり方」については、視聴覚ライブラリーの今後について、結論がみえてきたので報告書としてまとめていくことになった。2つ目のテーマである「貸出点数及び予約点数の緩和のその後の検証について」は時間の都合上、次回会議で検討することになった。事務局の報告としては、令和4年度の図書館予算の概要、中央図書館と地区図書館の事業計画の説明があった。地区図書館は4月から指定管理者制度が導入された。多くの事業を行っていただいている上、開館時間の延長や月末閉館日を廃止していただき、大変便利になったと委員から意見があった。

ア「視聴覚ライブラリーのあり方」報告書の提出

【 会 長 】 私と副会長で「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」報告書の案を作成し、事務局を通して、事前に各委員へ内容の確認をさせていただいた。本日「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」（報告）を中央図書館長へ提出させていただきたい。報告書の概要を私の方で説明した後、各委員から補足や要望等をいただき、その後報告書として提出したい。

報告書1ページでは、「1. 検討の流れ」として、一般に貸し出されている視聴覚資料を含め、視聴覚ライブラリー事業全体の歴史や現状を考察した。次に、「2. 事業の成り立ち、現状」として5ページまで、国や県の動向などと共に平塚市図書館の歴史、保有機材や資料について、5年間の推移や県内の状況を確認した。5ページでは、「3. 課題の検討」として、今までの会議の中での意見を抜粋した。そのうえで6～7ページでは、課題として「①機材や資料の整理」、「②利用者ニーズの分析」、「③学校教育との連携」、「④視聴覚ライブラリー運営の見直し」の4点に整理した。7ページでは、「4. 今後の運営について」として、視聴覚ライブラリーの今後の方向性をまとめている。図書館協議会としての結論は、「視聴覚ライブラリー」単体で機能を維持するのではなく、団体

向けの利用サービスについては、一般部門へ統合するのが良いのではないかと考える。団体貸出用資料及び機材については、まずは使用可否の確認をし、そのうえで今ある機材を使えなくなるまでサービスを継続、地域資料等貴重な資料については早急に媒体の変換なども検討して、参考室へ移管するというのが現実的だと考える。8ページでは、4点の課題について、今後実施していただきたい内容をお示ししている。計画的に実施する方向でご検討いただくようお願いする。

【副会長】 視聴覚ライブラリーについては、何度か議論を重ね、その内容が報告書に全て集約されている。廃止に当たっては課題も出てくるかとは思いますが、利用団体などへのヒアリングを丁寧に行い、なるべく不利益を被る方がいないよう、配慮していただくようお願いする。

会長から中央図書館長へ報告書を提出した。

【事務局】 ただ今、「平塚市視聴覚ライブラリーのあり方」への報告書をご提出いただいた。今後の視聴覚ライブラリーの運営方法について、いただいたご意見なども参考に、決定していきたい。また、進捗などについては、図書館協議会で報告させていただければと考えている。委員の皆様からの貴重なご意見に感謝申し上げます。

【会長】 各委員短期間で報告書の確認をいただき、お礼を申し上げます。事務局はこの報告書を踏まえ、取組を進めていただきたい。また、図書館協議会への進捗等の報告は今後お願いしたい。

イ 貸出点数及び予約点数緩和のその後の検証

事務局から資料の説明を行った。(別紙資料)

コロナで利用が途切れてしまった利用者も多いと考えられる中、以前のように図書館を利用していただくため、貸出点数については現状の15点を継続し、利用の促進をはかっていきたいと考えているが、予約点数の検証を含め、引き続き検証したい。また、予約資料の取置期限については、予約図書を少しでも早く借りていただくためにも、取置日数を現状の9日から7日に令和5年度から変更したいと考えている。

【会長】 このテーマについては、令和3年11月の第2回図書館協議会の際に一度協議した。前回の協議内容を振り替えると、平成30年度に貸出点数を各館7点から全館15点へと変更し、その後コロナ禍に突入したが、貸出点数は減少傾向、予約点数は増加傾向にあるとのことだ。

同時に、予約点数を7点から15点へ拡大したが、取り置き期限は9日間のままで運用しているとのことで、新刊、人気図書が予約で占められ図書館の書架に並ばなかったり、取り置き期限や回送等のタイムラグが長く、なかなか回転率が上がらない等、課題も顕著になっている状況のようだ。

近隣市の状況としては、図書資料だけでみると、貸出点数10冊、予約点数10冊、取り置き期限1週間が多くなっている。多くの市民が公平に利用するため、平塚市でも予約点数等を中心に再検証が必要である。資料を公平に利用する機会を増やすのが目的だと思うが、今の説明に関して質問や、もう一度詳しく伺いたい点などがあればお願いしたい。

【委員】 駅前に予約受取所を増設されたとのことだが、予約資料の期限切れ等の件数は

減っているか。

- 【事務局】 現場では期限切れの件数は一定数あるようだが、正確な数値は今後件数を分析し検証する必要があるとは考えている。
- 【委員】 予約資料を受け取れる場所を増やすことで、予約資料の期限切れの処理は減ってくるのかと予想されるので、その意味では受取場所を増やすということは効果的ではないかと考える。
- 【委員】 予約図書を受取場所の増設を検討されていると説明があったが、コンビニのような場所を検討しているのか。それとも、公民館のような施設を考えているのか。具体的にどういった場所を検討しているのか。
- 【事務局】 「平塚市図書館運営のあり方」にもあるとおり今後移動図書館を廃止する中で、その代わりに現在訪問している場所の近くにある公民館で予約図書の受取ができるよう検討している。
- 【事務局】 コンビニで予約資料を受け取るサービスを行っている自治体もあるが、手数料等の課題もあるので、まずは公共施設から導入し、様子を見ていきたい。
- 【副会長】 新刊の本が出版されると図書館で資料を予約させてもらっているが、人気の本だと、190人以上待っていたりするケースもあり、単純に計算すると7年待ちで、自分の番が来る頃までずっと予約点数にカウントされてしまう。人気の本に関しては読みたい人が多いので、取り置き期限が9日間というのは長すぎると思う。貸出期間についても、出版後1年以内の本に関して、レンタルビデオのように通常の2週間を1週間にするなど、より早く多くの人が本を読める体制を作っていただきたい。また、あまりにも多くの予約が入っている資料に対し、複数本を用意する対応を検討してほしい。もっと言えば、より多くの方が少しでも自分が読みたい本を読むことができるよう、人気図書のうちの1冊は予約対象資料とはせず、図書館に閲覧用資料として配架しておくなども提案させていただきたい。
- 先ほど、事務局からの説明で予約資料が用意できた際に葉書連絡の新規受付を廃止したと説明があったが、葉書を送付するのを全部廃止した訳ではないのか。
- 【事務局】 過去に受付をした希望者に対しては葉書連絡をしている。
- 【副会長】 新規で希望者に送付することは行っていないのか。
- 【事務局】 新規では送付していない。
- 【副会長】 それを聞いて安心した。葉書を送付するにしても1枚63円の経費が掛かるので、取置期限の問題ではないが葉書を送付するのは余計な経費だと思う。
- 【会長】 事務局の説明だと、貸出点数は15点を継続、取置期限は1週間に短縮したいという今のところの御意向ということか。
- 【事務局】 予約に関して、次にお待ちの方がいない場合は1度だけ取置期限の延長をすることができるので補足させていただく。
- 【会長】 先ほど予約図書の受取拠点を増やすとの話があったが、受取だけではなく返却もできるのか。
- 【事務局】 受取と返却ができることを想定している。
- 【副会長】 移動図書館が廃止されると、影響を受ける方が多くいると思う。駅は中央図書館や南図書館からも近いと思うが、現在移動図書館が巡回している場所の多くは図書館から離れている地域である。図書館から離れた場所に住む方々に

とって、近くの公民館で予約資料を受け取ることができるようになれば良いと思うので、図書館から離れた場所の公民館を最優先に拠点を検討していただきたい。

【 委 員 】 同じく図書館から遠い場所の拠点整備はぜひお願いしたい。

【 会 長 】 移動図書館が廃止される場所の近くの公民館から優先的に拠点としていただきたいという重要なご意見があった。

資料のグラフ2の予約とリクエストの違いは何か。

【 事 務 局 】 図書館で所蔵のない本については、リクエストとして受け付けている。リクエストされた資料について、すべて購入で対応するわけではなく、県内で所蔵している図書館から取り寄せる手段もある。

【 会 長 】 取置期限について、個人的にも一週間で良いと考えるが、前回予約した本を取りに来ない方が多くいて、現場で負担になっているという話があった。なぜ、取置期限を短縮するのかという説明を求められた場合、例えば1日当たり何件の方が予約資料の受取に来ないのか等の何らかの数値で把握していただきたい。利用者に理解を求める際、ただ大変だからという説明では納得いただけない。数値として把握、分析、説明するようにしていただきたい。

【 委 員 】 DVDなどは、延滞すると追加料金が発生するが、ペナルティを科すという発想は好きではないが、たとえば早く返却すれば何か特典があるなどの仕組みは作れないものか。

【 副 会 長 】 読みたい資料等は、借りたその日のうちに読み始め2週間が経つ前に返せる状況にはなるので、やはり人気の本は貸出期間を短縮するなどをして良いと考える。

【 委 員 】 何かメリットがあれば早く資料を受け取りに行き、早く返却してくれるので、スムーズに流れるのではないか。

【 会 長 】 借りては返しを繰り返す人もでてくるかもしれない。

【 副 会 長 】 予約サービスをよく利用しているが、現場で働いている方々にとっては大変な手間ではないかといつも考えているが、実際に現場で大変な状況や困っていることがあれば教えていただきたい。

【 事 務 局 】 予約点数が多いとその分現場の作業は増え、逆に予約点数が少なくなれば、その分作業も減るのは確かだが、先ほどのお話にもあったが、予約したが中々順番が回ってこない場合などもあるので、単純に予約点数を減らせば良いという話ではない。また、15点フルに予約している方にとっては、不満の声もあるかもしれない。現場としては、現在は15点全て未所蔵の本を予約できたりもするので、そういった場合はなかなか手間がかかるのは確かである。

【 委 員 】 近隣の図書館の貸出や予約点数、取り置き期限等の状況は把握しているのか。

【 事 務 局 】 令和2年度の第2回図書館協議会の際に資料とさせていただいたが、近隣市の状況としては、図書資料だけでみると、貸出点数10冊、予約点数10冊、取り置き期限1週間が多いという傾向はあるが、鎌倉市や厚木市は予約25冊、横須賀市、相模原市は予約点数10冊などのように、一律ではなく、それぞれの市の館の数や予約の傾向などで設定していると思われるので、難しいところがある。

先ほど、副会長のご意見で新刊や人気図書の貸出期間を短くしてはどうかというご提案があったが、現在課題図書については貸出期間を1週間とさせてい

ただいているので技術的には、可能である。しかし、出版から1年の資料に関しては貸出期限を短くするにしても、それぞれの資料を受け入れるタイミングも違うので難しいところがある。また1年たってもなお予約が多数入っている場合はどうするのかなどの理由で現実的には難しい。利用者もそれぞれの本によって返却期限が違うのはわかりづらいのではないかと考える。すぐに実施できるものとしては、利用者への協力の呼びかけ等は効果があると思うので、現場と相談し検討していきたい。

- 【 委 員 】 県立図書館の協力事業の中で、県内の図書館の状況を確認することもできるので利用していただければと考える。
- 【 会 長 】 せっかくなのでぜひ利用していただければと考える。
- 【 事 務 局 】 先ほど早く返却すれば特典を付けることができないかというご意見があったが、貸出回数に応じ、貸出点数を増やすイベントをやった図書館があると聞いたことがある。一括りに予約といっても、新刊の本を予約するのか、本を探す手間を省くため在庫している本を予約しているのか等様々な状況があるので、現状利用者がどのように予約を利用しているのか数値的に分析・検証する必要がある。あわせて、新刊や人気図書に対しては、予約点数の検討と合わせ、少しでも早く読んでいただくため複数の本を用意するという必要も必要となってくる。様々な面から利用分析を行い、どのような統計をとり、どのように分析するのか次回までの課題とさせていただきたい。県立図書館の協力事業もぜひ利用させていただければと考えるのでよろしくお願ひしたい。
- 【 副 会 長 】 一人平均何冊借りられているのか、何冊予約しているのか等の数値をとり、現状の点数が妥当か判断できれば良い。
- 【 事 務 局 】 平塚市は幅広く収集する方に力を入れ、また出版業界からのお願いもあり、複本をなるべくもたず運営してきた。しかし、実際に人気図書には200件近い予約が入っている状況なので、今後はより多くの複本を用意する方向で検討していく必要がある。また、駅前予約図書受取所を開設したが、予約資料が用意されているにもかかわらず、1冊ずつ受け取りにきたり取置期限ギリギリまで本を確保したりしている利用者もいるようだ。用意されている本を借りずに確保したままにすると、スペースの問題だけでなくその分本が回らないので、そういった点も含め調査をしたい。
- 【 副 会 長 】 本を購入するのも高いので、本を買うのを我慢し図書館で借りようとする人はこのご時世大勢いると思う。図書館では複本をたくさん用意し、より多くの人が読みたい本を早く読めるような環境を作ってほしい。本を読む人が増えれば、結果的に出版業界も栄えると思う。
- 【 事 務 局 】 図書館で借りてよかった本を本屋さんで購入するという利用者もいる。海老名市立図書館では併設する蔦屋書店エリアで書籍を購入することもできる。
- 【 会 長 】 交通や人口など個々の自治体の事情もあると思うので、それらを含め総合的にベストを決めていただければと考える。一般の図書に関し、予約資料の取置期限を9日間から7日間に変更を検討しているとのことだが、電子図書館も同様の運用となっているのか。
- 【 事 務 局 】 電子図書館における予約資料の取置期限は7日間である。電子図書館を導入した際、他市の状況を参考に7日間と設定したが、電子図書館の場合、24時間いつでも借りることができるので、7日間必要かという見方もできる。

- 【 会 長 】 一週間は長いという議論は出ていないのか。
- 【 事 務 局 】 今のところはそういったお声は届いていないが、電子図書館の場合も人気の本は予約が何件も入っている状況なので、併せて検討する必要がある。
- 【 会 長 】 検討事項が増えてしまい申し訳ないが、電子図書館の取置期限も併せて検討していただきたい。現場感覚としては予約サービスについて、同じ方が予約される傾向があるのか。
- 【 事 務 局 】 傾向としてそのようにある。
- 【 会 長 】 貸出点数や予約点数等の運用について4年ぶりに見直すとのことなので、情報収集や分析に務めていただきたい。次回にその結果をお示しいただければと考えるのでよろしくお願ひしたい。

(2)事務局報告

ア 令和4年9月市議会定例会の概要について

事務局から資料の説明を行った(2ページ)。9月市議会定例会本会議の総括質問において、「西部地区に図書館の設置を」という質問をいただいた。①「4館体制」の維持、②民間活力の活用による図書館サービスの提供、③「公共施設等総合管理計画」に基づき検討する中、新たな図書館の設置については、多くの課題があることという内容で答弁をした。次に、「補正予算」については、中央図書館窓口等業務委託の更新を行うための経費について、令和7年度末までの予算を確保するため、債務負担行為の設定し議決をいただいた。それに伴い、9月末に公募型プロポーザル方式による委託業者の募集を行い、今後、参加事業者によるプレゼンテーション・ヒアリング及び審査委員会による選考を実施する予定となっている。最後に、通常補正予算について、①来年春に大神地区でのイオンモールの開業に際し、返却ポストと子ども向けの図書コーナーを設置するための経費、②木材の利用促進を図るための「森林環境譲与税」を活用し、これを財源として、木製のイスやテーブルを購入して、1階ロビーとこども室へ配備するための経費、③1階ロビーへ設置型授乳室を設置する経費、④トイレや屋上防水、空調設備等の各種修繕のための経費、⑤駐車場の樹木の剪定の経費の計上を行った。

- 【 副 会 長 】 イオンモールへは、図書館の職員が配置されるのか。
- 【 事 務 局 】 フードコートの中の一角に子ども向けの図書を設置し、親子で本を自由に読んでいただくことを想定している。貸出や返却は行わず、閲覧のみをしていただくので職員は配置しない。
- 【 委 員 】 返却ポストの設置の説明もあったが、そこで借りた本を返せるという意味ではないのか。
- 【 事 務 局 】 返却ポストについては、子ども向け図書の設置とは別である。イオンモール内に返却ポストを設置し、こちらは通常に図書館で借りた本をお返しいただく。平塚駅の改札口横に設置しているポストをイメージしていただければと思う。
- 【 副 会 長 】 予約図書の受取はできないのか。
- 【 事 務 局 】 図書の返却のみで、受取はできない。
- 【 事 務 局 】 当初予約図書の貸出も検討したのだが、人を配置することが難しく今回は返却のみとさせていただいた。
- 【 副 会 長 】 無人ということか。
- 【 事 務 局 】 返却ポストについては、イオンモールのインフォメーションセンター内に設置する予定であり、無人で行う。さきほどのフードコート内に子ども向け図書を設置することについては、地域の読書環境を整備する一環として、商業施設内でも自由に本を読んでいただける環境を作ることを目的としている。今後、

図書館にも来館していただける流れを作ればと考えている。

- 【 委 員 】 そこに配置する本は図書館で所蔵する本を置くのか。
- 【 事 務 局 】 図書館の本を置かせていただく。一定期間で入れ替えることも想定している。親子で絵本を楽しむ体験を少しでも提供できればと考える。
- 【 副 会 長 】 新たに本を購入するのではないのか。
- 【 事 務 局 】 新規購入の図書購入費を今回の9月補正で計上した。小さいころから本に触れていただき、その後の読書習慣の育成に役立てたい。
- 【 副 会 長 】 大神地区は近隣に図書館はないのか。
- 【 事 務 局 】 北図書館が神田公民館に併設されているが、少し距離もある。大神地区は厚木市にも近い場所に位置しており、厚木市の図書館とは広域連携で相互に利用できるようになってきているので、そちらもあわせてご利用いただければと考える。また、北図書館は最近、イベントにも力を入れはじめているので、今後利用も伸ばしていければ良い。
- 【 会 長 】 欲を言えばコンビニぐらい身近でたくさんの図書スペースが市内各地にあると便利だが、そこまではなかなか難しい。一步一步というところだと思う。今回は図書を返却できるポストと誰でも読める子ども向け図書を配置するコーナーを設置するという案件だ。延岡市には、エンクロスという施設があるが、駅の待ち合いスペースで図書を自由に読んだり、カフェが併設されたりしている。そういった施設も参考になるかもしれない。
- 設置型授乳室や机や椅子の設置の案件については、中央図書館の1階ロビーに設置する予定か。
- 【 事 務 局 】 今後中央図書館の改修をするにあたり、ロビーや子ども室をどのようにゾーニングしていくのが良いか、どのようにご利用いただくのがいいのか検討する際の実証実験的なイメージで空間を形成したい。
- 【 副 会 長 】 イオンについて、賃料などはあるのか。
- 【 事 務 局 】 地域貢献の一環で今回図書館との連携のご提案をいただいたので、賃料は発生していない。
- 【 委 員 】 西部地区に図書館の設置をという要望があるが現実的には難しいところかもしれないが、土屋公民館の図書スペースは大変充実しており、主事さんが工夫していろいろな展示を行っているという印象である。また子どもたちにとっても公民館は居場所となっているように思われる。公民館に置いてある本は図書館と直接連携しているのか。
- 【 事 務 局 】 公民館独自の予算で購入した本もあるが、土屋公民館の図書スペースは一部図書館のリサイクル本を配架している。「平塚市図書館運営のあり方」を策定するにあたり、公民館図書室の整備をすると利用が増えるのか、図書館と公民館で実証実験を行ったことがあり、その際図書館のリサイクル本を配架した。主事が熱心で図書ボランティアと一緒に整理をしているので、多くの方に利用されるようになったようだ。今後、公民館の図書スペースの活用を検討する中で土屋公民館の事例を参考に進めていければと考えている。
- 【 委 員 】 土屋公民館の図書スペースがとても充実しているのでいつも不思議に思っていた。移動図書館廃止の件もあるが、土屋公民館等は地元の方の利用が多いと思うので、とても良いと思う。
- 【 副 会 長 】 花水公民館も図書スペースが充実している。

【事務局】 花水公民館と金目公民館は、ボランティアさん主体で文庫活動を行っていただいている。公民館でボランティアさんが直接、本の貸出・返却をしていただいている。先ほどの西部地区は金目公民館があるので、金目公民館のボランティアグループにも協力いただき、図書スペースの充実をさらに検討していきたいと考える。

イ 事業報告(中央図書館・地区図書館)

中央図書館の事業について、奉仕担当長から「令和4年度子ども読書活動推進プロジェクト」と「平塚市制施行90周年記念事業」について資料の説明を行った。本年度初めての試みとして、「平塚市・川崎市中原区コラボ中原御殿と中原街道」の展示や「中勘助の講演会」(参加者48名)等は大変好評だった。(3～6ページ)

【委員】 「川崎市中原区とのコラボ展示」だが、川崎市中原区では中原街道を実際に歩いたりするイベントも行われており話題となっていたようだ。こういった企画はすごく楽しい。

【事務局】 平塚市長と川崎市長との対談があり、実現した企画である。展示等も多くの方にご覧いただけたようなので実施してよかったと思っている。

【委員】 3館コラボとして、古い映画を上映されたとあるが、若者は昭和という時代に興味があるようだ。こういった映画を定期的に上映すると若い世代にも昭和という時代がどうであったか伝わるのではないかと思う。

【会長】 読書感想文とビブリオバトルをセットにした講座は2年目になるが、昨年度よりも応募者が多く抽選にもれた方も多くいたようだ。以前学校で読書感想文の講座を実施してほしいという意見もあった。

【委員】 第1回図書館協議会で報告があったので、学校でも講座の宣伝をさせていただいた。今年は応募が多かったのではないかと思う。昨年度も提案したが、こういった講座を教員の研修で実施していただいても良いのではないかと思う。

【会長】 同意見である。事業を行える先生を増やしていくというのが良いと考える。

【委員】 教育研究所では夏に教員向けの研修を実施しているのでその中で実施できると良いのかもしれない。

地区図書館の事業について、事務局から実施中の地区図書館3館合同「読書週間スタンプラリー」と夏休み期間中に実施した事業について説明した。全日開館(南図書館のみ清掃による休館1日あり)、AVブースの開放(97回利用)、「夏休みの宿題お助け隊」(実績149件)、西図書館子ども映画会(46名参加)などの説明を行った。

【会長】 地区図書館においては大変様々な事業を実施していただき、大変興味深い。資料等でご報告いただけると助かる。

【委員】 第1回図書館協議会の際に、地区図書館の夏休みの事業のご紹介をいただいていたので、週1回の給食の時間の放送による朗読の機会に、子どもたちにも周知した。学校にポスターやチラシを送付していただいているが、夏休みもあるので7月頭位までにお送りいただくと子どもたちにも周知できるので次回からよろしくお願ひしたい。

【事務局】 承知した。

(3)委員からの提案

会長より東海大学公開講演会チラシ「本のある居心地の良い空間を演出するーブックカフェに求められる役割ー」(11月26日)及び副会長よりイベントチラシ「おじいちゃんの小さな美術館」(11月27日)の紹介を行った。

- 【 会 長 】 10月22日に東海大学で3年ぶりに「グローバルフェスタ」を行い、平塚市図書館と東海大学の司書課程と共同でブースを出した。そこでミニ図書館として図書館カードの利用登録や本の貸出等も行い、好評だった(100名来場)。年に数回でも良いので、新規登録を図書館以外の場所へ出張できる仕組みは効果的ではないかと思った。一度作れば電子図書館なら来館せずに利用できるのでは、そのあたりも含め検討をお願いしたい。
- 入口のデジタルサイネージで「個別ブックスタート」と「本の福袋アイデア募集」という案内をみたが、どのようなものか。
- 【 事 務 局 】 「個別ブックスタート」については、11月から試行的に開始している。本年度から保健センターで開催している7か月健診でのブックスタートの開催を見合わせているので、そのフォロー及びコロナ禍でブックスタートを受けられなかったお子さんを対象に、読み聞かせを実施しないで、本をお渡しするのみの予約不要のブックスタートを開始し、今日の午前中も3件利用があったようだ。
- 「本の福袋のアイデア募集」については、毎年1月の最初の開館日に本の福袋を出しているが、その中身のテーマを利用者から集めている。
- 【 会 長 】 デジタルサイネージの画面の切り替わりが早く、内容がわからなかったのもう少し長く見られるように設定していただきたい。
- 学校との連携という話が以前あったが、どのような形で連携ができるかアイデアがあればお願いしたい。
- 【 委 員 】 親が図書館を好きだと子どもも図書館へ行き、図書館に興味ないと子どもも本への興味がなかなか持てないようだ。図書館の職員が学校へ出向き、本の紹介をするなどの出前授業などの仕組みがあれば良いかとも考える。国語に図書の分類の授業があるので、そのような機会に直に伝えていただくと効果的かと考える。
- 【 副 会 長 】 8月に久しぶりに各中学校区子ども読書活動推進協議会の代表が集まる代表者会議が開催され意見交換したが、コロナ禍で元の活動は難しいが、放送で読み聞かせをしたり、動画を流したり、子どもたちの読書の火を消さぬよう、できないなりにできることを工夫して活動していることが分かった。平塚市は独自の取組として、各中学校区に子ども読書協議会があるので、どの地域もボランティアが活躍できる場があると良いが、新規にボランティアをやっていただけ保護者がどんどん減ってしまい、どのようにしたら負担なくボランティアとして活動していただけるのか模索中である。在校生の保護者にぜひ仲間に入ってほしい。
- 【 委 員 】 タブレットを活用して、先生方がそこでおすすめの本を紹介したりしようと動いてくれたが、著作権などの問題から実施ができなかった。
- 【 会 長 】 例えば総合学習の時間なのか、どこのタイミングで連携できるかわからない部分があるので、学校現場のニーズを確かめながら進めていきたい。無理なく面白かつ効果的なことができれば良い。
- 【 副 会 長 】 図書館ホームページについての提案をさせていただきたい。他市の図書館では実施しているところはあるようだが、図書館のホームページで本の検索をする際、本の表紙を見ることができるとより分かりやすいと思うので御検討いただきたい。
- 【 委 員 】 アマゾンなどでは見ることができる。
- 【 会 長 】 図書館システムの違いだとは思う。
- 【 事 務 局 】 以前同じような要望をいただいている。システム上できるかどうかも含め今後検討させていただきたい。

【副会長】 所蔵している本全部だと大変だと思うが、話題作や新作だけでも見れると良い。

(4)今後の予定

・第3回平塚市図書館協議会

令和5年3月23日（木）14時30分からとなった。

閉会